

日本ポリアミン学会第7回年会プログラム (敬称略)

第1日目 11月13日(金)

60周年記念館 1階講義室

開会・世話人挨拶

13:00-13:05

セッション1

微生物とポリアミン(1)

座長 根本直樹

13:05-13:20

1. Δ speB 変異株が生産する新たなポリアミン(予報)

○大島泰郎

(共和化工・環境微生物学研究所)

13:20-13:35

2. 大腸菌を用いたアミノプロピルカダベリンの生産

○松岡利奈, 鈴木秀之

(京都工芸繊維大学・応用生物学専攻)

13:35-13:50

3. SpeAB 経路を増強した大腸菌を用いたプトレッシンの生産

○入江加奈子, 鈴木秀之

(京都工芸繊維大学応用生物学専攻)

13:50-14:05

4. スペルミジン構造類似体の大腸菌の細胞増殖に果たす役割

○吉田健人¹, 大川翼¹, 坂本明彦¹, 高尾浩一², 杉田義昭², 照井祐介¹, 五十嵐一衛^{3,4}, 柏木敬子¹

(¹千葉科学大学薬学部, ²城西大学薬学部, ³アミンファーマ研究所,

⁴千葉大学大学院薬学研院)

14:05-14:20 小休憩

セッション2

微生物とポリアミン(2)

座長 坂本明彦

14:20-14:35

5. 大腸菌のポリアミン利用代謝経路に関わる遺伝子の編成と進化

○根本直樹

(千葉工業大学・工学部)

14:35-14:50

6. 大腸菌の新規プロテシソクエクスポートー SapBCDF の同定と
抗菌ペプチド耐性への影響の検討

○杉山友太¹, 中村篤央², 松本光晴², 神戸亜也香³, 鈴木秀之³,
東恭平⁴, 五十嵐一衛⁵, 片山高嶺^{1,6}, 栗原新¹

(¹石川県大・腸内細菌, ²協同乳業, ³京都工芸繊維大院・応用生物学系,
⁴千葉大院・薬, ⁵アミンファーマ研, ⁶京都大院・生命)

14:50-15:05

7. ヒト腸内細菌 *Bacteroides thetaiotaomicron* の carboxyspermidine
decarboxylase はスペルミジン合成に寄与している

○阪中幹祥¹, 杉山友太¹, 北方彩¹, 片山高嶺^{1,2}, 栗原新¹

(¹石川県立大学・腸内細菌共生機構学寄附講座, ²京都大学大学院・
生命科学研究所)

15:05-15:20

8. 腸内環境の酸性化による腸内ポリアミン増加

○北田雄祐¹, 村松幸治¹, 栗原新², 松本光晴¹

(¹協同乳業・技術開発, ²石川県大・生資環)

15:20-16:00 コーヒーブレイク

セッション3

微生物とポリアミン (3)、ポリアミンと RNA 座長 栗原新

16:00-16:15

9. 超好熱性アーキア *Thermococcus kodakarensis* 由来分岐鎖ポリアミン合成酵素の構造と機能

○秀瀬涼太¹, Ka Man Carman Tse², 木村成吾¹, 溝端栄一², 井上豪², 藤原伸介^{1,3}

(¹ 関学大院・理工・生命, ² 阪大院・工・応化, ³ 関学大院・理工・生物機能基材研究開発セ)

16:15-16:30

10. Characterization of the branched-chain polyamine synthase from a thermophilic bacterium, *Thermus thermophiles*

○Gita Adhirani Wihardja¹, Ryota Hidese¹, and Shinsuke Fujiwara^{1,2}

(¹ Dept. of Biosci., Grad. Sch. of Sci. and Tech., Kwansei-Gakuin Univ., ² Res. Cent. for Intelligent Bio-Materials, Grad. Sch. of Sci. and Tech., Kwansei-Gakuin Univ.)

16:30-16:45

11. NMR法によるRMF mRNAの翻訳制御領域とスペルミジンの相互作用解析

○佐原潤平¹, 照井祐介², 五十嵐一衛^{3,4}, 柏木敬子², 河合剛太¹

(¹ 千葉工業大学・工学部, ² 千葉科学大学・薬学部, ³ 千葉大学大学院・薬学研究院, ⁴ アミンファーマ研)

16:45-17:00 小休憩

特別講演 17:00-18:00

座長 岡孝己

Cytotoxicity of polyamine metabolites induces apoptosis on tumor cells: New approaches in cancer therapy by nanocarriers through proteomic studies

Enzo Agostinelli

(Department of Biochemical Sciences “A. Rossi Fanelli”, University of Rome “La Sapienza” and CNR, Institute of Molecular Biology and Pathology)

18:10-20:10 懇親会

60周年記念館 2階大セミナー室

第2日目 11月14日(土)

60周年記念館 1階講義室

セッション4

ポリアミンと健康

座長 松本光晴

9:20-9:35

12. ポリアミン経口摂取による肝再生促進効果と熱ストレス精巣障害回復促進効果

○渡邊卓巳¹, 伊地知哲生¹, 土井淳司^{2,3}, 奥村晋也³, 藤本康弘^{2,3,4}, 笠原尚哉², 浦橋泰然², 高山達也², 寺谷工²

(¹コンビ株式会社, ²自治医科大学医学部, ³京都大学医学部, ⁴市立静岡病院外科・消化器外科)

9:35-9:50

13. 高ポリアミン含有納豆製造に向けた原料大豆の選抜

○小林和也, 堀井悠一郎, 渡辺聡
(新潟農総研食研セ)

9:50-10:05

14. ポリアミンは発癌を促進するのか？

○早田邦康

(自治医科大学さいたま医療センター)

10:05-10:45 コーヒーブレイク

セッション5

ポリアミンと疾患

座長 大城戸真喜子

10:45-11:00

15. 手術前尿中 N¹,N¹²-ジアセチルスペルミンと非小細胞肺癌の予後

○平松恭子¹, 高橋祐介², 堀尾裕俊², 高橋慶一³, 坂口幸治⁴,
斉藤文江¹, 高岡恵美¹, 森谷俊介¹, 寺岡秀興¹, 川喜田正夫¹

(¹東京都医学研・幹細胞, ²癌感染症センター都立駒込病院・呼吸器外科,
³同・大腸外科, ⁴長野県立須坂病院・呼吸器外科)

11:00-11:15

16. 脳梗塞時のポリアミン代謝における加齢の影響

○渡辺健太¹, 石橋美咲¹, 齋木遼太郎^{1,2}, 植村武史^{1,2}, 西村和洋¹,
戸井田敏彦¹, 五十嵐一衛^{1,2}

(¹千葉大学大学院薬学研究院, ²アミンファーマ研究所)

11:15-11:30

17. 脳梗塞時 NMDA 受容体により流入する Ca²⁺によるポリアミン代謝
毒性物質アクロレインの産生

○中村瑞穂¹, 植村武史¹, 齋木遼太郎^{1,2}, 坂本明彦³, 朴恵林²,
西村和洋², 照井祐介³, 戸井田敏彦², 柏木敬子³, 五十嵐一衛^{1,2}

(¹株アミンファーマ研, ²千葉大学大学院薬学研究院, ³千葉科学大学
薬学部)

プログラム

11:30-11:45

18. Preparation of Poly-ion Complex Generated from Chondroitin Sulfate and Polyamines and its Effect on Oral Bioavailability

○Dan Ge¹, Kyohei Higashi¹, Daichi Ito¹, Yusuke Terui², Kenichi Nagano¹, Ryota Ishikawa¹, and Toshihiko Toida¹

(¹ Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Chiba University, ² Faculty of Pharmacy, Chiba Institute of Science)

11:45-13:15 昼食

(評議員会)

60周年記念館 2階小セミナー室

セッション6

ポリアミンと植物

座長 照井祐介

13:15-13:30

19. 灰色藻葉緑体が保持する *N*-アセチルプトレシン含有型細胞壁ペプチドグリカンに結合する蛋白質の単離と機能解析

○児島征司^{1,2}, 村本光二¹, 草野友延¹

(¹ 東北大・学際科学フロンティア研究所, ² 東北大院・生命科学)

13:30-13:45

20. Selaginella 由来クレード III のポリアミン酸化酵素の特徴づけ

G. H. M. Sagor¹, 井上雅貴¹, 金東煜¹, 児島征司^{1,2}, 新津勝³, T. Berberich⁴, ○草野友延¹

(¹ 東北大・院生命、² 東北大・学際フロンティア、³ 城西大・薬、⁴ BiK-F)

13:45-14:00

21. シロイヌナズナにおける非生物ストレスに対するポリアミン酸化酵素の役割

○G. H. M. Sagor¹, 張思遠¹, 児島征司^{1,2}, T. Berberich³, 草野友延¹

(¹ 東北大・院生命、² 東北大・学際フロンティア、³ BiK-F)

プログラム

14:00-14:15

22. シロイヌナズナの SAC51 ファミリーによるサーモスペルミン応答制御

蔡青々¹, 本瀬宏康¹, ○高橋卓¹

(¹岡山大学・大学院自然科学研究科)

14:15-14:45 総会

14:45-15:00 閉会・会長による総括